医療通訳者養成研修プログラムの開発と評価

看護学科（基礎医学・保健学）
看護学研究科（基礎医学・保健学）
濱井　妙子
●連　絡　先　　TEL：054-264-5466　FAX：054-264-5466

キーワード
地域医療学，外国人医療，医療通訳者養成，医療コミュニケーション，
異文化コミュニケーション，外国人住民への健康啓発

2014年末の在留外国人数は212万人で前年比2.7％増加、外国人入国数は1,415万人で前年比25.7％増加した。日本は内なる国際化が進み、外国人は日本の社会を構成する大きな要素になりつつある。しかし、医療通訳者利用の法制化など外国人患者に対する診療環境は整備されていない。そのため、外国人患者の受診抑制や健康格差の広がり、医療の質の低下が危惧される。本研究は、外国人患者が安心して医療サービスを受けられる、かつ、医療者が外国人患者に安全な医療サービスを安心して提供することを目的としている。2012年度からは、外国人住民が自ら地域で活動できる外国人医療通訳者としての人材を養成するために、在住ブラジル人対象の医療通訳者養成研修プログラムの開発と評価を実施している。これらの研究成果は将来の医療通訳者資格認定制度の基盤となることが期待される。詳しくは、研究プロジェクトのホームページ　http://plaza.umin.ac.jp/thamai/　を参照されたい。

アピールポイント
・地域貢献型コミュニケーション人材を育成する。
・医療通訳ネットワークを構築する。
・医療通訳者能力の評価ツールのソフトを開発する。